

令和3年10月13日

PTA 会員様

県立北須磨高等学校 PTA
会 長 柴谷 雅也
育成委員長 小林千登勢

PTA 育成委員会だより

秋とは名ばかりの暑い日が続いておりますが、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、PTA 活動にご理解ご協力を賜りありがとうございます。

去る9月1日～9月20日に京都芸術大学クロステックデザインコース准教授、株式会社クロステック・マネジメント取締役 吉田大作先生に講師をお願いして進路講演会を開催いたしました。

コロナ禍という限られた環境の中で今年度はweb 配信とさせていただきますが、視聴回数は約390回となり内容の濃いお話を大勢の方にご視聴していただくことができました。

進路指導部の藤後先生からのメッセージと講演会のアンケートの結果を掲載致しておりますので、あわせてご覧下さい。

PTA 進路講演会を終えて

進路指導部長 藤後 泰典

今年度の進路講演会はWeb 配信ということもあり、例年のような対面での講演では設定しにくい80分を超えるボリュームで多くの情報をそれも大変わかりやすくお伝えいただきました。再生回数も予想を超えるものですが、講演を何回かに分けて視聴いただいたり、複数回ご覧いただいたケースもあるのではないかと想像します。また今回、京都芸術大学様と吉田先生のご厚意で公開期間をかなり長くいただけたことも多くの方にご覧いただけた要因のひとつだと思います。この場をお借りして感謝申し上げます。

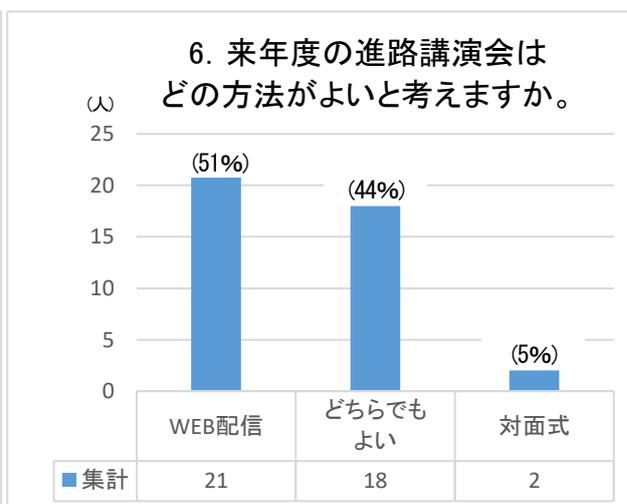
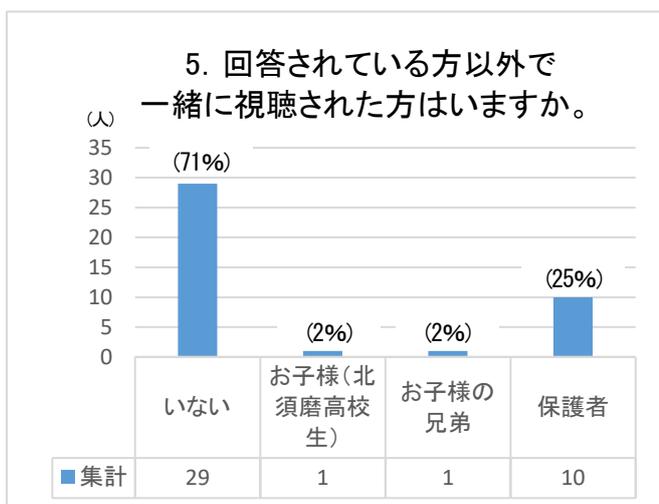
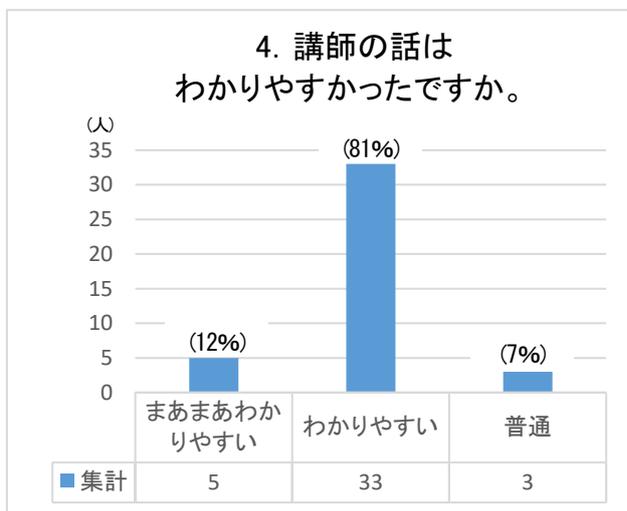
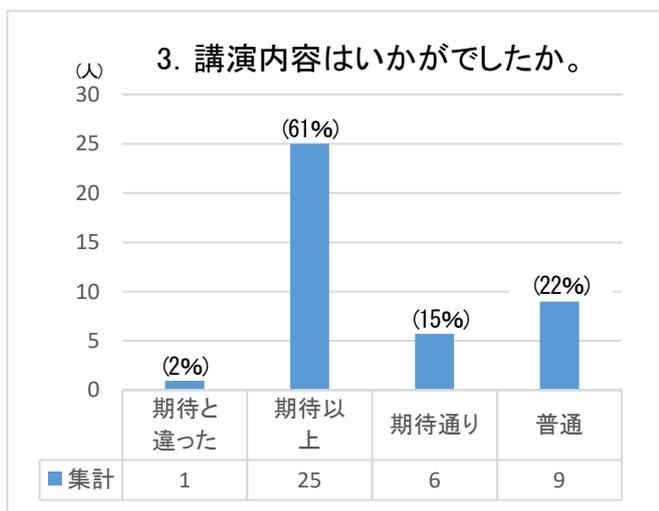
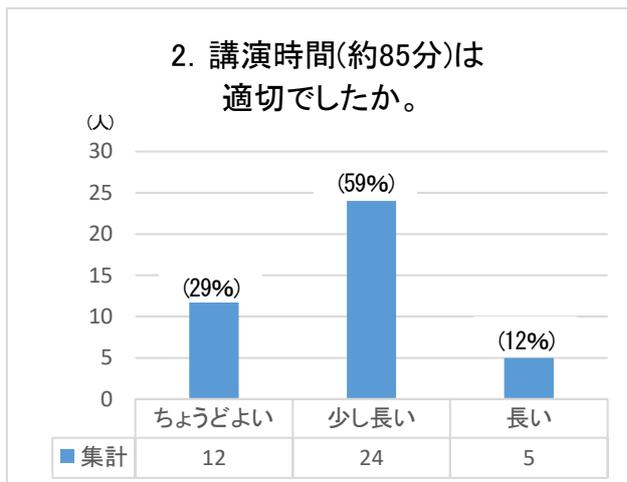
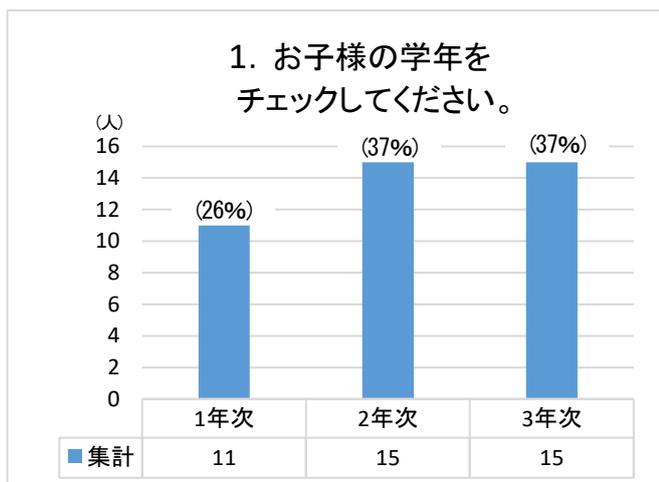
以下、講演内容の一部を挙げさせていただきます。

- ・保護者が学ぶ姿勢を失わず、先入観を捨てて子どもと一緒に学ぶ姿勢が重要であること。
- ・保護者世代の入試と現在の入試の変更点。
- ・社会、産業構造の変化に対応した進学意識のあり方。
- ・「褒めて伸ばす」を都合よく捉えないこと。上手な「叱り方」の必要性について。
- ・口には出さずとも保護者や教員の表情や態度が子どもたちに「態度（決定）」を選択させていることも多い。子どものモチベーションを高く維持するためには保護者も口癖や言葉遣いを意識する必要があること。
- ・SNS との距離のとり方。
- ・進学先や就職先、買い物（欲しいもの）までも「みんな（友達）」の価値観を基準にして決めてしまうことの怖さ。
- ・今後、進学先を「人気」に左右されず「自分で考えて決める」ことの重要性がさらに増す時代であること。

こうして見ましても非常に具体的で多くの気づきをいただける講演でした。最後の2点などは生徒に対してもぜひ伝えていきたいと思っております。

今回の講演動画の公開準備が整ったのは夏休みに入ってからでした。PTA 役員・育成委員の方々の負担も考え、保護者の皆様への案内や実際の視聴開始は2学期に入ってからと考えていましたところ、先行して動画を確認していただいた役員の方々から、少しでも早く特に3年次の保護者さんには夏休み中に見てほしいとのご意見をいただきました。進路指導を担当する者として大変嬉しく、ありがたいご意見でした。生徒の進路実現は保護者の皆様と学校のよい協力関係があつてこそ。3年生はいよいよ入試の時期を迎えてまいりますが生徒たちと一緒に精一杯でトライしていきたいと思っております。一層のご協力をよろしく申し上げます。

【アンケート結果 (41名回答)】 (ホームページにも掲載)



◆◆◆保護者の方からのご意見・ご感想◆◆◆

〈1年生の保護者より〉

- ・大学の進学率の変化はわかっていたつもりだったけど、その意味がよくわかっていなかった事がわかり気づきを得られて良かったと思います。子供ともこの意識を共有して、私自身も変化していこうと思いました。
- ・こちらから聞きたいことはある程度調べられますが、それよりも思いもよらなかったという気づきになる今回のような講演がありがたいです。とても参考になり、いい大学に入らなければという事ではなく、その先を考えて行動するべきだと思います。
- ・webで視聴するには、視聴時間85分に少し尻込みします。ただ内容は85分でも興味深いもので飽きる事はありませんでした。

〈2年生の保護者より〉

- ・自分に当てはまる事が多く、考えを改めないといけないと思いました。とても参考になりました。
- ・親の価値観を言い過ぎていたと反省しました。進学できたら終わりではないことをしっかり伝えて行きたいと思いました。息子に伝えるのがやはり難しいです。
- ・いろいろ気づかされる点があり普段の言動にも気をつけなければと思いました。ありがとうございました。
- ・大学に行けば何とかなる時代ではないのですね。目からうろこでした。一步踏み出せない子供にドーパミンが出る声掛けをしたいと思います。参考になりました。
- ・後半の携帯の話は私(母)の対応が悪かったと改めて反省しました。今はコルチゾール体質になっていると思いました。“楽しい。ありがとう。やってみよう。”と寄り添いながら、ドーパミン体質になるように改善していきたいと思いました。時代の変化について行くのは、自分達親もなかなか大変で、色々な情報の中から正しい知識を得て、勉強し続けたいと感じました。貴重なお話をありがとうございました。
- ・まさに、自分が悩んでいることと同じ質問に答えて下さっていたので、最後まで興味を持って聞けました。ありがとうございました。

〈3年生の保護者より〉

- ・「ナイスライ」素敵な言葉です。
- ・とてもわかりやすく参考になりました。多様化が進む現代で、子供も保護者も常に思考をアップデートしていき先入観を捨てる事がいかに重要であるかを改めて考えさせられました。ありがとうございました。
- ・時代がすっかり変わってしまったのだと改めて感じました。仕事では日々感じていましたが子供の受験までは考えていず、しっかりと今後の事を考えなくてはと思いました。自分で判断し動ける人になって欲しいと思っています。
- ・良いお話だと思います。子供は現在高校三年生。今から何がといわれると、もしかしたら間に合わないかもしれませんが、諦めず保護者である自分の行動を見直すきっかけになったと思います。ありがとうございました。
- ・今までの固定観念が覆され、新しい時代の考えが聞けて驚きました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・吉田先生のお話は大変わかりやすく保護者と子供の間の問題点やこれからの希望を与えて頂いて、難しい時代に立ち向かう気持ちが心からわいてきました。本当に有難い講演会でした。ありがとうございました。
- ・進路選択に迷った子どもに、行動することが大事ということを教えて頂きありがたかったです。子どもがコルチゾールを出さないような態度や言葉がけを保護者や周りの大人が気を付けないといけないことを知りました。これからはドーパミンを出させるような言動を自分がしようと思いました。今までの自分の言動を振り返る機会を頂き、これからの子どもの進路や成長に良い影響を与えられる方法を教えて頂いて、とてもありがたい講演会でした。どうもありがとうございました。
- ・大学生の娘と視聴しましたが、解説付きのように説明してもらいながらだったので、良く理解が出来ました。時代の流れについて行く事は、なかなか難しいですが、決めつけずに話を聞いて一緒に考える事だけは、普段から行っていたので、そこは、良かった所だと思います。
- ・これから進路決定の大事な時期を迎えるにあたりとても参考になりました。